

アメリカに依存しすぎる危うさ
～核を持った統一朝鮮への備え～

戦後のわが国の安全保障戦略は日米安全条約によってアメリカへの依存に終始してきた。そのアメリカの信頼性が揺らぎを見せる中、いよいよ再検討が必須となっている。

自主防衛の腹を固めることが唯一の選択だが、国民の準備が整っていない。防衛力強化こそが平和維持の前提だという理解の浸透が浅い。

朝鮮半島の統一は迫っているが、その統一朝鮮は、核兵器を有するという可能性が極めて大きい。ということはわが国の周辺は、米中露朝鮮と全て核兵器を有する国家となるということになる。その時代のわが国の安全保障をいかに図るかの議論が必須だ。

見たくない現実は見えない振りをいつまでも通すというわけにはいかない。

アメリカが頼りという思考停止はこれ以上放置できない。

トランプ大統領の出現はわが国の安全保障への覚悟を問う警鐘なのだ。

(潮晃 8月14日)